

#### (4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI / 12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院
コラボ研修プログラム	テーマ： タブレットを活用した学びのあり方～保護者と一緒に考える「これからの授業」～
支援事業報告書	研修等名： NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修 タブレットを活用した学びのあり方～保護者と一緒に考える「これからの授業」～ 開催日時：令和4年1月29日 9時～12時 開催場所：オンラインYouTube配信 熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号） 参加人数と参加者の属性：80人 保護者・学校関係者・教職大学院関係者 他

- 内容：**1 開会・主催者挨拶（熊本大学教職大学院 藤中隆久教授  
熊本市小・中学校情報教育研究会 松尾幸治会長）  
趣旨説明（熊本大学教職大学院 金井義明）  
2 講演「保護者も知ってほしい『これからの学び』」  
中川 一史（放送大学 教授）  
3 ICTを活用した実践紹介  
多田 肇（熊本大学附属特別支援学校 教諭） 特別支援学校の取組  
白石 一恵（熊本市立託麻東小学校 教諭） 小学校低学年の取組  
堤 翔平（熊本市立桜木小学校 教諭） 小学校高学年の取組  
野口 哲（熊本市立北部中学校 教諭） 中学校の取組  
4 パネルディスカッション  
中川 一史（放送大学 教授）  
松島 雄一郎（熊本市PTA協議会 会長）  
佐藤 明彦（教育ジャーナリスト）  
実践発表者4人（多田、白石、堤、野口）  
金井 義明（熊本大学教職大学院 准教授）（コーディネーター）  
5 閉会

**成果：**研修後のアンケート（自由記述）

- ・学校と保護者がみんなで考えて子どもたちに力をつけていくところがとても素晴らしいと思った。
- ・学校任せではなく、家でできることをしっかり取り組んでいきたい。そのためにも、これからどのような教育が目指されているかをしっかり情報収集したい。
- ・中川先生の講話は、とても分かりやすかったです。これからの授業のことをもっと知りたいです。
- ・4人の実践発表は、具体的でよくわかりました。自分たちが受けてきた授業と比べると、ずいぶん様変わりしました。新しい授業のコンセプトを知れてよかったです。
- ・熊本市のタブレット活用は全国でも進んでいると聞いていましたが、今回の話で実感できました。先生たちの頑張りには負けないよう、家でできることを考えていきたいと思います。
- ・私は教員です。学校だけで取り組むのではなく、家庭と連携して取り組む大切さを痛感しました。これからは、もっと学校での様子を家庭に知らせていきたいと思います。
- ・校長として、学校と家庭が連携する仕組みづくりに取り組もうと思いました。学校だけでどんなにがんばっても、それが家庭に伝わらないと効果も半減します。ともに取り組むことにより、相乗効果も期待できることを感じました。校長として取り組んでいきたいと思います。

**アイデアや工夫したこと：**

- ・県内の全小中学校へのチラシの郵送、SNS等での呼びかけを充実した。
- ・「保護者と一緒に考える」とコンセプトとし、より多くの参加者にとって意義ある実践発表になるように各校種の実践の報告を計画するとともに、できるだけわかりやすい言葉、内容を心掛けた。
- ・今回のYouTube配信を見ることができなかった方も、見ることができるようになっている。  
<https://www.youtube.com/watch?v=qj2NoAi5IEE&t=9072s>

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。




主催者挨拶 藤中隆久教授



趣旨説明 金井義明准教授

**現状への問題提起**

○我が国の教師は、子供たちの主体的な学びや、学級やグループの中での協働的な学びを展開することによって、自立した個人の育成に尽力してきた。その一方で、我が国の経済発展を支えるために、「みんなと同じことができる」、「言われたことを言われたとおりにできる」上質で均質な労働者の育成が高度経済成長期までの社会の要請として学校教育に求められてきた中で、「正解(知識)の暗記」の比重が大きくなり、「自ら課題を見つけ、それを解決する力」を育成するため、他者と協働し、自ら考え抜く学びが十分なされていないのではないかという指摘もある。




講話 中川 一史 氏

Kumamoto Education Week 2022.1.22-30

子どもの学びや様子を適切に伝える  
デジタル連絡帳の活用


熊本大学教育学部附属特別支援学校  
教諭 多田 肇



実践発表 多田 肇 氏

タブレットを活用した学びのあり方  
保護者と一緒に考える「これからの授業」  
～低学年～

2022年1月29日 熊本市立託麻東小学校 白石一恵



実践発表 白石 一恵 氏

There is always light behind the clouds.

実践発表 堤 翔平 氏

Kumamoto Education Week 実践報告

ICTを通して、  
未来を切り拓く力を育む

70年 北部中

熊本市立北部中学校 教諭 野口 哲



実践発表 野口 哲 氏

パネルディスカッション

中川氏 松島氏 佐藤氏 実践発表者

YouTube での配信だったため、参加者の写真を撮ることができませんでした。